



環境経営レポート

2024年度版

(2023年10月～2024年9月)



豊かな環境を提供し社会に貢献する

大社建設 株式会社

発行日 2024年11月15日

目 次

1.組織の概要	1
2.認証・登録の対象範囲	1
3.環境経営方針	2
4.環境経営目標	3
5.環境経営計画	4
6.環境経営計画に基づき実施した取組内容.....	5
(1) エコアクション21実施体制.....	5
(2) 2024年度に実施した環境への取組.....	6
7.環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組結果と その評価の実績、並びに次年度の取組.....	7
(1) 環境経営目標の実績.....	7
(2) 環境経営計画の実施・取組結果とその評価.....	8
(3) 今後の取組計画.....	10
8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無.....	12
9.代表者による取組状況の全体評価と見直し結果.....	12

1.組織の概要

- (1) 事業者名 大社建設 株式会社
代表者氏名 代表取締役 橘田 香
- (2) 所在地 〒812-0014 福岡県福岡市博多区比恵町2-1
博多エステートビル207号
- (3) 環境管理責任者 統括本部長 樋口 信義
担当者氏名 営業部 草場 俊幸
連絡先 TEL 092-400-3188
FAX 092-292-5083
Eメールアドレス taisya-kensetu.c@world.ocn.ne.jp
- (4) 事業の内容
建設業 許可番号:福岡県知事許可(特-3)第90960号
建設業の種類 建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・レンガ・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、解体工事業
- (5) 事業年度 1月～12月 (環境取りまとめ年度: 10月～翌年9月)
- (6) 事業の規模 資本金 4,120万円 総売上額:258百万円(2024年度)

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
		2021年10月 ～2022年9月	2022年10月 ～2023年9月	2023年10月 ～2024年9月
従業員	人	6	6	5
床面積	m ²	30	30	30
物件件数	(件)	元請 1	元請 2	元請 2
		下請 4	下請 5	下請 2

2.認証・登録の対象範囲

- (1) 対象事業所 本社 大社建設 株式会社
- (2) 対象事業活動 建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・レンガ・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業、建具工事業、解体工事業

3. 環境経営方針

<環境経営理念>

大社建設株式会社は、建設業に関連する業務全般において、豊かな環境を提供し、社会に貢献致します。

今、私たちは、こうした事業活動に伴うエネルギーや資材の使用が地域及び地球の環境に影響を与えていることを十分に自覚し、全社をあげて環境問題に積極的に取り組み、持続可能な社会づくりに貢献して参ります。

<環境行動指針>

- 1.環境関連法規や当社が約束したその他の要求事項を厳守します。
- 2.次の事項について、環境経営目標・環境経営計画を定め実施します。
 - ① 省エネルギーに取り組み二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 産業廃棄物は、分別の徹底、資源の再利用、再資源化に努めます。
 - ③ 節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ④ 化学物質の使用にあたっては十分留意し、適正に使用管理します。
 - ⑤ 事務用品のグリーン購入を推進します。
 - ⑥ 環境負荷低減技術を使った受注物件を増やしていきます。
 - ⑦ 地域貢献活動等、建設現場における環境保全活動を行います。
- 3.本方針を全社員に周知し、環境保全の知識を深め、環境経営の継続的改善に取り組むことを宣言します。

制定日 2009 年 10 月 1 日
改訂日 2020 年 3 月 17 日

大社建設 株式会社
代表取締役 橘田 香

4.環境経営目標

- ・環境経営目標は、当社の事業活動特性を踏まえて、事務所と現場にサイト区分し、全体では以下の6項目11目標を設定しました。
- ・主要な環境負荷である二酸化炭素排出量については、基準年(2022年度実績値)を基準に、2025年度までに3%削減を目指します。
- ・事業活動で取り組む本業目標については、2020年度から「6.当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加(環境負荷の小さい原材料調達先の選定)」を掲げ、全社をあげて取り組んで環境経営を推進していきます。

環境目標	サイト区分	単位	基準年 2022年度 実績値	目標		
				2023年度 (1%削減)	2024年度 (2%削減)	2025年度 (3%削減)
				2021.10～ 2022.9	2022.10～ 2023.9	2023.10～ 2024.9
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	9,567	9,471	9,376	9,280
①電気使用量の削減	事務所	kWh	2,616	2,590	2,564	2,538
	現場	kWh	不明	節電の徹底		
②ガソリン使用量の削減	全社	ℓ	3,581	3,545	3,509	3,474
2. 廃棄物排出量の削減						
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	37	37	37	37
②建設廃棄物のリサイクル率維持	現場	% (リサイクル率)	85	85	85	85
3. 水使用量の削減	全社	m ³	不明	節水に努める		
4. 化学物質の適正管理	現場	—	—	化学物質の適正管理に努める		
5. グリーン購入(事務用品)の推進	全社	品目数	6	購入推進の徹底		
6. 当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加						
①元請工事の受注の増加	全社	件 (元請工事の受注件数)	1	2	2	2
②当社の環境負荷低減技術を活かした工事の施工	全社	% (施工実績)	100	100	100	100

備考)

- ・事務所の水は住宅と共用につき、水使用量は作業現場(元請)のみとする。
- ・購入電力のCO₂排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数 0.479 kg-CO₂/kWh を用いた。
- ・現場の電力消費量と水の使用量は現場内容によって大きく変わるので、節電・節水の努力目標とした。
- ・全社とは「事務所+現場」を示す。

5.環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な取組(活動項目)を定めて、全社員で取組を実施しました。

上段	— 事務所
下段	— 工事現場

1.二酸化炭素排出量の削減

取組項目	責任者	具体的な取組(活動項目)	担当者	スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
①電気使用量の削減	樋口信義	1 室内温度を決めて空調機で調節する(冷房27℃、暖房20℃)	草場 現場担当	←→	←→	←→	←→
		2 パソコン未使用時は電源OFFにする	草場 現場担当	←→	←→	←→	←→
		3 昼休みや不在時は照明の消灯を行う。	草場 現場担当	←→	←→	←→	←→
②ガソリン使用量の削減	樋口信義	1 車両停止時はエンジンを停止する。	全員	←→	←→	←→	←→
		2 営業車両は、効率的な使用に配慮する。	全員	←→	←→	←→	←→
		3 走行距離と供給燃料をチェックし、燃費を把握する。	全員	←→	←→	←→	←→
		4 定期的な車両整備を実施する。	全員	←→	←→	←→	←→

2.廃棄物排出量の削減

取組項目	責任者	活動項目	担当者	スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
①一般廃棄物排出量の削減	樋口信義	1 コピー用紙の裏紙再利用を徹底する。	草場 現場担当				
		2 メールを使用し、出来るだけ電子化する	草場 現場担当				
3 資源回収活動に参加する。		草場 現場担当					
4 分別回収を徹底し、リサイクルに努める		草場 現場担当					

3.水使用量の削減

取組項目	責任者	活動項目	担当者	スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
①水使用量の削減	樋口信義	1 水使用時は節水を心掛ける	全員	←→	←→	←→	←→

4.化学物質の適正管理

取組項目	責任者	活動項目	責任者	スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
①化学物質の適正管理	樋口信義	1 下請け業者と共に、化学物質の適正使用・管理に努める。	現場担当	←→	←→	←→	←→

5.グリーン購入(事務用品)の推進

取組項目	責任者	活動項目	担当者	スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
①グリーン購入(事務用品)の推進	樋口信義	1 グリーン購入対象商品をカタログ・仕様書で確認し、リサイクル品を出来るだけ購入する。	草場	←→	←→	←→	←→
			現場担当	←→	←→	←→	←→

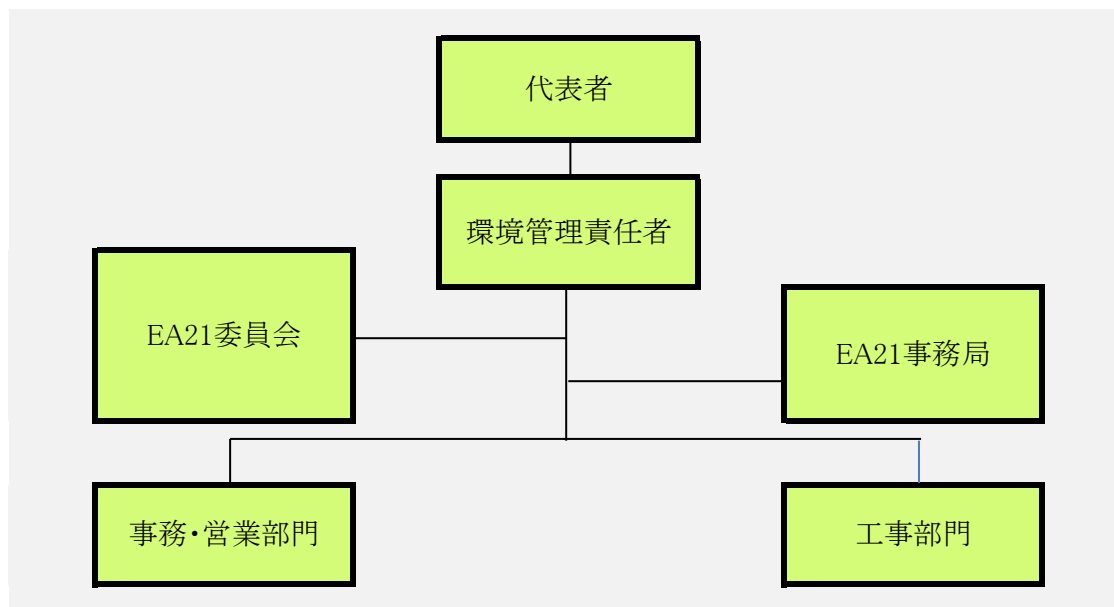
6.当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加

取組項目	責任者	活動項目	担当者	スケジュール			
				10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
①元請工事の受注の増加	樋口信義	1 ISO等を取得し、企業の信頼度を上げて受注増加に努める	全員	←→	←→	←→	←→
		2 グループ企業間の情報共有を密にし、新規顧客獲得に努める	全員	←→	←→	←→	←→
①当社の環境負荷低減技術を活かした工事の施工	樋口信義	1 コンクリートの砕石は再生クラッシュランを使用する	現場担当	←→	←→	←→	←→
		2 埋戻し砂などは再生砂を使用する	現場担当	←→	←→	←→	←→

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

- ・2024年度に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
- ・なお、実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって実施しました。

(1) エコアクション21実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、実行し、環境実績を向上させる。 ・毎年、環境目標、環境活動計画を作成する。 ・取組状況の確認・評価のために、毎月EA21委員会を開催する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
EA21委員会	・毎月1回開催し、環境経営目標及び環境経営活動計画の取組状況を確認する。 ・3カ月毎にその間の取組状況を評価し、必要に応じて問題点の是正処置を検討する。
EA21事務局	・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・環境目標達成のため、責任を持って自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育・訓練を実施する
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

(2) 2024年度に実施した環境への取組

環境負荷を削減する取組



節電の啓発ポスター



エアコンの温度管理



CO2削減



裏紙使用(両面コピー)



ごみ減量



電子マニフェストによる管理



水の減量



環境を良くする取組

グリーン購入



地域共生



安全



現場事務所にAEDの設置

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実施・取組 結果とその評価の実績、並びに次年度の取組

(1) 環境経営目標の実績

- ・2024年度運用期間における環境経営目標の達成状況は、以下のとおりです。
- ・本年度の受注工事量は元請2件、下請5件（基準年度は元請け1件、下請け0件）であった。
元請として外壁改修工事1件、解体工事1件を受注、施工を行っている。
- ・当社の最大の環境負荷である二酸化炭素排出量は、遠方現場と小規模現場の掛け持ちによる
現場移動でのガソリン使用量の増加で大きく達成できなかった。電気使用量は事務所では換気
回数を減らすなどして、目標を達成できた。
- ・今期は基準年度を変更し新たに目標を定めて取り組みました。現場の規模によって大きく変動してしま
う数値以外は目標を達成できています。今後も現状の活動を続けながら、より一層、環境活動に取り組ん
でいきます。

環境目標	サイト 区分	単位	基準年度	2024年度 (2022.10～2023.9)		目標 達成率	達成 判定	備考
			2022年度 (2021.10～ 2022.9) 実績	目標 (1%削減)	実績			
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg-CO ₂	9,567	9,376	14,527	65%	×	
①電気使用量の削減	事務所	kWh	2,616	2,564	2,001	128%	◎	
	現場	kWh	不明	節電の徹 底	6,632	-	-	
②ガソリン使用量の削減	全社	ℓ	3,581	3,509	4,476	78%	×	
2. 廃棄物排出量の削減								
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	37	37	42	88%	△	
②建設廃棄物のリサイクル率維持	現場	% (リサイクル率)	85%	85%	89%	113%	○	
3. 水使用量の削減	全社	m ³	不明	節水に 努める	787	-	-	
4. 化学物質の適正管理	現場	-	-	適正管理	-	-	-	使用なし
5. グリーン購入(事務用品)の推進	全社	品目数	6	購入推進 の徹底	6	100%	○	
6. 当社の環境負荷低減技術を 活かした工事の受注増加								
①元請工事の受注の増加	全社	件 (元請工事の 受注件数)	1	2	1	50%	×	
②当社の環境負荷低減技術を活 かした工事の施工	全社	% (施工実績)	100%	100%	100%	100%	○	

備考)・達成判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、
×: 80%未満、-: 判定不可

・目標達成率の計算 削減目標の場合: 目標÷実績×100、増加目標の場合: 実績÷目標×100

(2)環境経営計画の実施・取組結果とその評価

- ・環境経営計画の取組結果は以下のとおりであり、取組は概ね適切に実施されています。
- ・今後も目標達成に向けた取組を確実に進めていきます。

1.二酸化炭素排出量の削減

取組項目	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価
①電気使用量の削減	◎	1 室内温度を決めて空調機で調節する(冷房27℃、暖房20℃)。	○	<現状> ・事務所の電気使用量は目標達成できました。 ・遠方の現場があり、ガソリンの使用量が大幅に増える結果となりました。 ・工事現場の取組は適切に実施出来た。 <今後> ・今後も車両の燃費確認やエコドライブの取組を徹底して継続します。
		2 パソコン未使用時は電源OFFをする。	○	
		3 昼休みや不在時は照明の消灯を行う。	○	
②ガソリン使用量の削減	×	1 車両停止時はエンジンを停止する。	○	
		2 営業車両は、効率的な使用に配慮する。	○	
		3 走行距離と供給燃料をチェックし、燃費を把握する。	○	
		4 定期的な車両整備を実施する。	○	

備考) 達成状況判定区分 ◎: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上、100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可
取組実施状況区分 ◎: 定着している ○: 実行されている △: ほぼ実行されている ×: 実行されていない -: 判定不可

2.廃棄物排出量の削減

取組項目	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価
①一般廃棄物排出量の削減	○	1 コピー用紙の裏紙再利用を徹底する。	○	<現状> ・事務所のごみ分別等は、適切に実施できています。 ・現場のリサイクル率は解体工事もあり、リサイクル率は向上した。 <今後> ・事務所の備品を見直し再利用を重視し購入を減少させる。 ・印刷を控え電子化し、紙の使用量を減らす ・現場は分別回収や廃棄物の削減を意識して業務にあたる
		2 メールを使用し、出来るだけ電子化する	○	
②建設廃棄物のリサイクル率維持	○	3 資源回収活動に参加する。	○	
		4 分別回収徹底し、リサイクルに努める。	○	

3.水使用量の削減

取組項目	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価
①水使用量の削減	○	1 水使用時は節水を心掛ける	○	<現状> ・事務所の水使用は共用の為、数量は把握出来ませんが、節水を心がけています。 ・現場の水使用は粉塵防止ため増える傾向にあります。 <今後> ・今後も取組を継続します。 ・粉塵防止とのバランスを考えて節水を心掛けます。

4. 化学物質の適正管理

取組項目	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価
①化学物質の適正管理	-	1 下請け業者と共に、化学物質の適正使用・管理に努める。	-	＜今後＞ ・今後、化学物質を使用する工事を受注した場合は化学物質の適正管理に努めます。

5. グリーン購入(事務用品)の推進

取組項目	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価
①グリーン購入(事務用品)の推進	○	1 グリーン購入対象商品の現状購入量を把握し、リサイクル用品を出来るだけ購入する	○	＜現状＞ ・今期は6品目で現状維持のままでした。 ＜今後＞ ・今後は、出来る事からグリーン商品を確認しながら、品目の追加を目指します。

6. 当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加

取組項目	目標達成状況	活動項目	取組実施状況	評価
①元請工事の受注の増加	○	1 福岡市Bランクを維持し施工実績や企業点をあげ、公共工事を持続的に受注できるよう努める	○	＜現状＞ ・福岡市Bランクを維持。 ・競争入札で1件受注。再生資材、環境対応重機を使用し施工している。 ＜今後＞ ・受注、施工精度を高め、次の受注につなげるようにする。
		2 グループ企業間の情報共有を密にし、新規顧客獲得に努める	○	
②当社の環境負荷低減技術を活かした工事の施工	○	1 再生材等を積極的に使用する	○	
		2 環境対応型の重機を使用する	○	

(3) 今後の取組計画

1) 環境経営目標について

今年度から基準年を切り替えて取り組みを行い、現場規模によってほぼ変動しない目標は達成できていたので、来年度の2%削減も達成できるように取り組んでいきたい。

中期的な目標値は以下のとおりです。

環境目標	サイト 区分	単位	基準年 2022年度 実績値	目標			
				2023年度 (1%削減)	2024年度 (2%削減)	2025年度 (3%削減)	2026年度 (4%削減)
				2021.10～ 2022.9	2022.10～ 2023.9	2023.10～ 2024.9	2024.10～ 2025.9
1. 二酸化炭素排出量の削減	全社	kg -CO ₂	9,567	9,471	9,376	9,280	9,184
①電気使用量の削減	事務所	kWh	2,616	2,590	2,564	2,538	2,511
	現場	kWh	不明	節電の徹底			
②ガソリン使用量の削減	全社	ℓ	3,581	3,545	3,509	3,474	3,438
2. 廃棄物排出量の削減							
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	37	37	37	37	37
②建設廃棄物のリサイクル率維持	現場	% (リサイクル率)	85	85	85	85	85
3. 水使用量の削減	全社	m ³	不明	節水に努める			
4. 化学物質の適正管理	現場	—	—	化学物質の適正管理に努める			
5. グリーン購入(事務用品)の推進	全社	品目数	6	購入推進の徹底			
6. 当社の環境負荷低減技術を 活かした工事の受注増加							
①元請工事の受注の増加	全社	件 (元請工事の 受注件数)	1	2	2	2	2
②当社の環境負荷低減技術を 活かした工事の施工	全社	% (施工実績)	100	100	100	100	100

備考) ・購入電力のCO₂排出係数は、九州電力(株)の2020年度調整後排出係数 0.479kg-CO₂/kWh を用いた。

・6.当社の環境低減技術を活かした工事の受注増加目標は、元請工事のみを対象とする。

・全社とは「事務所+現場」を示す。

2) 環境経営計画について

・次年度の取組計画は、当面は現状を維持するが、「4. ①化学物質の適正管理」に「3. 関係業者の化学物質管理者の確認を行う」を追加している。

1. 二酸化炭素排出量の削減

活動項目	サイト区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①電気使用量の削減	全社	樋口信義	1. 本社事務所の室温は、冷房期27℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	草場俊幸	冷房期：5～9月 暖房期：11～3月
			2. 不要な照明の消灯・夜間の主電源OFF	草場俊幸	通年
			3. 現場事務所等の室温は、冷房期27℃、暖房期20℃とし、エアコンで調節する	草場俊幸	冷房期：5～9月 暖房期：11～3月
			4. 不要な照明の消灯・夜間の主電源OFF	草場俊幸	通年
②ガソリン使用量の削減	全社	樋口信義	1. 車両停止時はエンジンを停止する。	草場俊幸	通年
			2. 営業車両は、効率的な使用に配慮する。	草場俊幸	通年
			3. 走行距離と供給燃料をチェックし燃費を把握する。	草場俊幸	通年
			4. 定期的な車両整備を実施する。	草場俊幸	通年

2. 廃棄物排出量の削減

活動項目	サイト区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①一般廃棄物排出量の削減	事務所	樋口信義	1. コピー用紙の裏紙再利用を徹底する。	草場俊幸	通年
			2. メールを使用し、出来るだけ電子化する	草場俊幸	通年
②建設廃棄物のリサイクル率維持	現場	樋口信義	1. 現場における廃棄物の分別徹底	草場俊幸	通年
			2. 現場代理人はマニフェストの管理を確実に行う	草場俊幸	通年

3. 水使用量の削減

活動項目	サイト区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①水使用量の削減	事務所	樋口信義	1. 日常の節水・漏水の点検	草場俊幸	通年
	現場	樋口信義	1. 節水の励行・洗車は必要最小限とする	草場俊幸	通年

4. 化学物質の適正管理

活動項目	サイト区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①化学物の適正管理	事務所	樋口信義	1. 定期的に化学物質使用量（在庫量）を記録する	草場俊幸	通年
			2. 化学物質使用者にSDSを渡し適正使用に努める	草場俊幸	通年
			3. 関係業者の化学物質管理者の確認を行う	草場俊幸	通年

5. グリーン購入(事務用品)の推進

活動項目	サイト区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①グリーン購入（事務用品）の推進	全社	樋口信義	1. 事務に使用するグリーン購入対象商品をカタログ・仕様書で確認して購入し、記録する	草場俊幸	通年

6. 当社の環境負荷低減技術を活かした工事の受注増加

活動項目	サイト区分	責任者	達成手段	担当者	スケジュール
①元請工事の受注の増加	全社	樋口信義	1. 福岡市Bランクを維持し施工実績や企業点をあげ、公共工事を持続的に受注できるよう努める	草場俊幸	通年
			2. グループ企業間の情報共有を密にし、新規顧客獲得に努める	草場俊幸	通年
②当社の環境負荷低減技術を活かした工事の施工	現場	樋口信義	1. 再生材等を積極的に使用する	草場俊幸	通年
			2. 環境対応型の重機を使用する	草場俊幸	通年

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- ・当社の事業活動、製品及びサービスに適用される環境関連法規等は次のとおりです。
- ・2024年度の事業活動は下請工事が主のため摘要法令は限定的となりましたが違反は有りませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。

適用される法規等	適用される事項(施設・物質・活動等)	判定
廃棄物処理法	・一般廃棄物及び産業廃棄物の管理・排出	○
建設リサイクル法	・建築4品目の分別解体と再資源化	○
労働安全衛生法 (石綿障害予防規則)	・解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業	○
騒音規制法	・特定建設作業の届出 ・建設現場での機械使用時の騒音レベルの遵守	○
振動規制法	・特定建設作業の届出 ・建設現場での機械使用時の振動レベルの遵守	○

遵守状況の判定区分 ○ : 遵守できた × : 不遵守 - : 該当なし

9.代表者による取組状況の全体評価と見直し結果

(1) 取組状況の全体評価

- ・当社は、少人数の利を活かして出来る範囲で役割を分担し、環境活動に全員で取り組んでいます。
- ・今年度は基準年より2%削減を目標に取り組みましたが、ほぼ前年通りで電気使用量以外は削減とまではなりませんでした。
- ・事務所の電気使用量は換気回数の調整で、空調電気使用量を削減することが出来ました。
- ・遠方の現場や小規模現場の掛け持ちによる現場移動でのガソリン使用量の増加があり、二酸化炭素排出量は目標未達成となっています。
- ・引き続き、決められた役割分担に基づき、削減目標を明確にして取り組み、全社員の継続意識の高揚を図って参ります。

(2) 見直しの結果

- ・取り組みとしては成功していると感じる。現場規模によって大きく変動する項目を数値的な目標と出来るか思索していきます。